

(農業団体、行政機関等配布用)

平成25年度 農林水産省
男女共同参画加速化事業

農業・農村にいまこそ女性の力を！

～農業委員への女性の登用をすすめよう～



農地のパトロール中



幼稚園生と一緒に食農体験

平成25年10月

全国女性農業委員ネットワーク

■ 農業委員会って？

農業委員会は、地域の農業・農村の振興のために、市町村に設置されている行政委員会で、複数の委員で構成されています。

全国に1,710の農業委員会があります。（全国農業会議所調べ(平成24年9月現在)）

■ 農業委員会の業務は？

① 農地法に基づく許認可など(法令業務)

- ・農地の売買や貸借の許可
- ・農地転用に関する事務
- ・遊休農地の調査・指導

法令業務は、
農業委員会のみがその権限
に基づいて行う業務です。

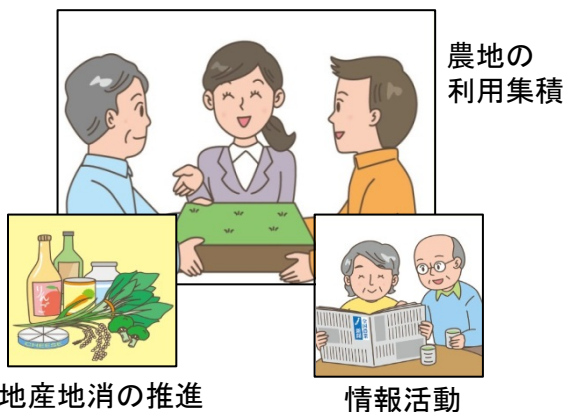


農地のパトロール

② 地域農業の振興を図るための活動

- ・認定農業者等への農地の利用集積
- ・経営改善の相談
- ・食農・食育、地産地消の推進
- ・農業・農業者に関する情報提供

など



地産地消の推進

情報活動

③ 農業施策に関する意見の公表、行政庁への建議

■ 農業委員に関する基礎情報

- ・非常勤の地方公務員です。
- ・3年ごとに改選されます。
- ・月数回の会議に出席したり、農地パトロールなどを行います。
- ・報酬が支払われます(平均3万円/月)。

■ “女性らしさ”を生かして、農業委員、活躍中！

— 先輩委員から、こんな声も！ —



農地を守り活かす… 責任のある仕事だけに、その分、やり甲斐もあります！

- ・自分が農業が好きだから、農地を何とかしなきゃと思って農業委員になりました！
- ・農地の問題で困っているときなどに声をかけやすいみたい。相談を受けたものは行政や関係団体につなぐようにしています。

「食べることと生きることはくっついている」 その大切さを子どもたちへ伝えています！

- ・「食べることや命の大切さ、自分で作物を育てるたのしさを感じてもらいたい」と思って始めた食農教育。私たち農業委員が先生役です！
- ・農業委員になって、まずは食育から始めようと口にしたところ、他の委員から賛成・協力の声が上がりました。



農業者の代表として… 農業者や集落の声を行政・政策へ反映します！

- ・真に農業者の立場にたって、農業者や集落の声を行政庁に届けていくことは、農業委員会にとって大事な役割。
- ・地域活動について、女性同士で意見交換できる場を設けるようにしています。

農業委員会には、農村づくりや農業施策への要望を市町村長等に提言できる活動があります。



魅力ある農業づくりへのお手伝いをしています！

- ・「自分が作った農産物の魅力をもっとPRしていくにはどうしたらいい？」「若い子が農業をやりたいがっているんだけど…」など、色々な相談を受けます。相談内容に応じて、補助事業の紹介や農地のあっせん、自分の経験を生かしたアドバイスなどを行っています。



■ 農業委員ってどうやってなるの？

1. 農業者の選挙によって選ばれた人（→選挙委員）

2. 市町村長により選任された人（→選任委員）

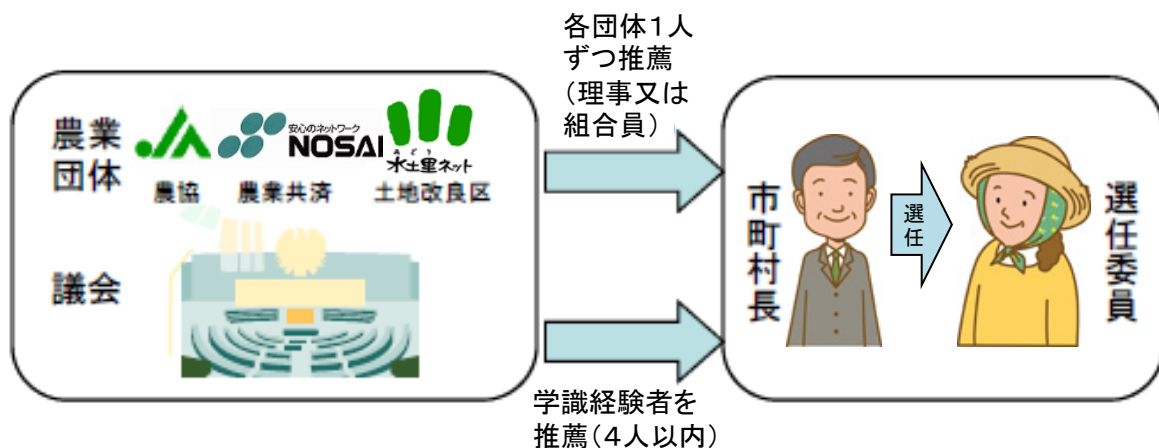
が農業委員になることができます。

（1）選任委員になるには？

① 農業団体（農協、農業共済組合、土地改良区）による推薦

② 市町村議会による推薦

の2つの方法があります。



学識経験者の中に、青年・女性農業者、認定農業者等の担い手も含まれています。

議会推薦とはいえ、議員しか推薦できないのではありません。

女性農業者を推薦することもできます。

なるほど！豆知識！！

- ・ 全農業委員のうち選挙委員は75%、選任委員は25%です。
- ・ 女性農業委員のうち約8割は選任委員です。
- ・ 女性が農業委員になる場合、はじめは、市町村議会より推薦を受けて選任委員になるというケースが多いです。
- ・ 選任委員を1～2期務めた後は選挙委員に立候補し、選任委員には他の女性が推薦されるよう関係者に働きかけていくことで、女性の委員を増やしています。

(2) 選挙委員になるには？

委員の被選挙権をもつ人が立候補し、農業者の選挙で当選した場合に選挙委員になります。

選挙権・被選挙がある人

農業委員会の区域(市町村域)内に住所のある満20歳以上の者で、次のいずれかに該当する者。

- ① 耕作の業務を営む者（都府県10a以上、北海道30a以上）
- ② ①の親族又はその配偶者で耕作に従事している者（年60日以上）
①と同一世帯の親、妻、子、子の配偶者にも選挙権・被選挙権があります！
- ③ 農業生産法人の構成員で耕作に従事している者（年60日以上）

→市町村の選挙管理委員会は、選挙権を有する者（①～③）からの申請に基づき、毎年1月1日現在で選挙人名簿を作成することになっています。上記の要件を満たしている方は、必ず毎年1月10日までに「農業委員会委員選挙人名簿登載申請書」を農業委員会事務局までご提出下さい。

選挙スケジュール

※立候補をする際は必ず、お住まいの市町村の選挙管理委員会でスケジュールをご確認ください。

－ 4月22日が投票日の場合の参考例 －

	日程	時間	
①説明会または届出書類等事前審査	3月27日(火)	13時から17時まで	←立候補予定者はまず、説明会に参加しましょう！
②告示日	4月15日(日)		
③立候補届出受付	〃	8時半から17時まで	
④投票日	4月22日(日)		
⑤開票	〃	21時から	
⑥選挙会 (1)投票の場合	〃	開票の事務とあわせて実施	←選挙会は、当選人を決定する機関です。
(2)無投票の場合	4月23日(月)	10時から	
⑦当選証書の付与	4月23日(月)	11時から	

選挙の1年位前から、女性の登用に向けた要請活動や、集落の調整がはじまります。立候補する場合は、早めに、農業委員会に問い合わせたり、先輩委員に相談して、選挙に出る準備を進めましょう！

※ご希望の方には、立候補に関する内容（届出書類、届出受付、選挙運動等）を記載した「別冊 農業委員会委員選挙 立候補の手引き」をお配りしています。お近くの農業委員会までお問い合わせください。

■ 女性の農業委員が活躍する農業委員会の紹介

女性の農業委員数が日本一！

広島県東広島市農業委員会

農業委員数：42名
うち女性：9名（選任委員：5名、選挙委員：4名）



◆なぜ女性の農業委員を9名まで増やせたのですか？

女性の農業委員が増えた背景には、①議会等への要請活動の積み重ねと②女性の立候補への理解・協力があります。

1点目は、当時農業委員を務めていた女性4名と、会長をはじめとする男性の委員が力を合わせて、市長や市議会議長をはじめ関係団体に対し、女性のさらなる登用に向けて要請活動を行ったことです。市議会から推薦される選任委員4名はすべて女性にするよう要望しました。

2点目は、女性が選挙委員として立候補することに、男性の委員がとても協力的だったことです。「あなたは次期はどうするんじゃ。やるか、やらんか決めんといけん。あんた一人で、農業委員になれると思っとったらつまらんでえ。地域の人の賛成がないと、なられんのじゃけん。あんたがやるんじゃったら、わしは農業委員はやめてもええでえ」と男性の委員。集落の人たちとの交流づくりなど、女性が立候補しやすいよう積極的にバックアップしていただきました。

こうした結果、平成24年の改選時には、選挙委員の女性が2名→4名に、選任委員の女性が2名→5名に増加しました。

◆女性の農業委員が増えて「ここは変わったなあ」という点がありますか？

①委員会の雰囲気明るくなった

女性は意見や提案を活発に出すため、定例総会などの集まりがとっても明るく賑やかになりました。

②住民からの相談が増えた

女性はコミュニケーションが得意で、丁寧で細やかに対応することにも長けているので、住民からよく相談を受けます。「耕作放棄地の畑を利用するにはどうしたらいい？」、「うちの息子にいいお相手いない？」などなど。

③子どもや若い世代との交流が盛んに

女性は、子どもを産み育てるなどの経験から、子どもたちへ農業・農村の魅力を伝える取り組みに積極的！今年は高校生や大学生との交流会も開催しました。

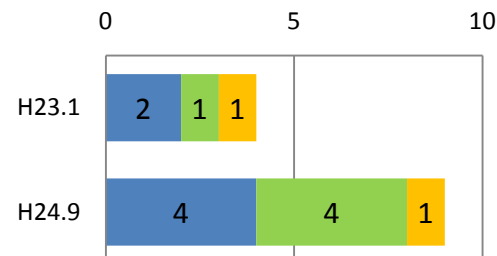
また、30代の若手農業者とも、経営のあり方や発展方向について、一緒に悩み考えています。



議長への要請

女性農業委員選出割合

■選挙 ■議会推薦 ■団体推薦



～女性部会の取組～

女性の農業委員が増えたことをきっかけに、女性の農業委員による「女性部会」を立ち上げました（平成23年6月）。

女性部会の組織化により、女性からの意見や提案が通りやすくなり、女性主体で色々な活動が実現できるようになりました。

勉強会を自主的に開催

定期的に勉強会を開き、農地法など農業委員会業務に必要な法律・制度についてみんなで勉強しています。

初めて農業委員になる方も、分からないところを直接聞けてスッキリ！



女性農業者との意見交換会

日頃、表舞台に立つことが少ない女性農業者に参加していただき、日頃の悩み、不満、期待などについて意見交換をしています。

こうした会を持つことで、参加者は地域の農業に対してさらに関心をもつようになり、農業者同士の横のつながりも広がります。

また、将来の農業委員の候補としても期待しているところです。



食育・食農教育を実践

地元の小学生を対象に、食農教育に取り組んでいます。伝統食の伝承として「雑煮づくり」をしたところ、子どもたちは大喜びで食べていました。最近では正月でも雑煮を作らない家庭もあるそうです。



法人経営者から生の声を聞く

先進的な農業経営に取り組む農業生産法人等を訪問し、経営方針や事業内容、若者の受け入れ状況、6次産業化の取組などについて、経営者から生の声を聞く機会をつくっています。

地域の農業の将来のあり方について具体的に話し合える貴重な場です。

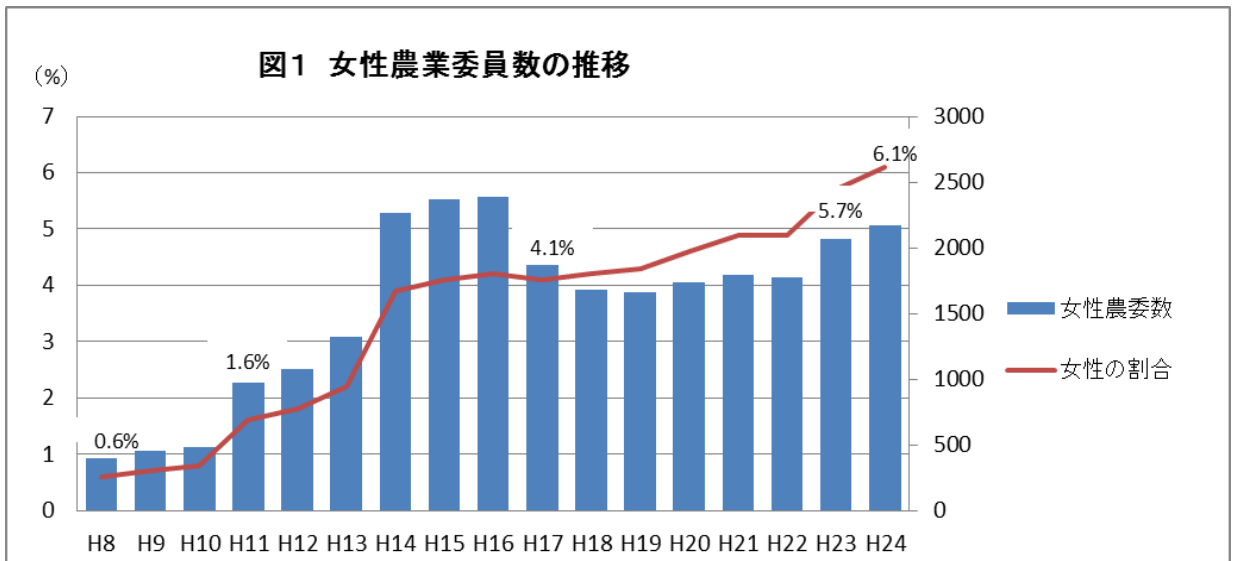
現在、全国では2,171名の女性の農業委員が活躍しています（図1）。

女性ならではの視点や感性を活かし、地域内の農地のパトロールや遊休農地の解消活動、農地に関する相談対応をはじめ、食農・食育活動や若手就農者へのサポートなど様々な活動に取り組んでいます。

しかしながら、全農業委員のうち女性の割合はわずか6.1%（図1）。

農山漁村や農林水産業の活性化には、アイディア、行動力、ネットワークづくりに優れる女性の能力の発揮が不可欠です。

農業や地域活動に熱心に取り組む女性の農業委員への登用をすすめていきましょう！



資料：全国農業会議所調べ

農業委員会に関するお問合せは、
お住まいの市町村農業委員会事務局までお願いします。



編集・発行 全国女性農業委員ネットワーク
(事務局：全国農業会議所)

東京都千代田区二番町9-8(中央労働基準協会ビル)

※ p.1に掲載しているイラストは、パンフレット「今こそ農業委員会に女性の力を」
(編集・発行：全国農業会議所) より使用しています。